

## 2 自己指導能力の獲得を支える生徒指導

生徒指導の目的は、「児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えること」（生徒指導提要）である。児童生徒が、深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」、「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、すなわち、「自己指導能力」を児童生徒一人一人が身に付けることが重要である。

### 自己存在感の感受

- ◇学校生活のあらゆる場面で、「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、児童生徒が実感する機会を用意する。
  - ・自己肯定感や自己有用感の育成
  - ・一人一人の内面の変化に気付けるきめ細かい日常観察と記録の情報共有
  - ・アンケート調査や教育相談を活用した児童生徒の悩み等に組織で対応
  - ・進学時の不安・悩み等をはじめとした児童生徒の内面に対する共感的理解
  - ・児童生徒の特性や背景に応じた適切な指導等による信頼関係の構築

### 共感的な人間関係の育成

- ◇自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる相互扶助的で共感的な人間関係を構築する。
  - ・支持的で創造的な学級・ホームルームづくり
  - ・学級内の対人関係及び集団活動・生活をする際のルールづくり
  - ・児童生徒が相互に認め合うリレーションづくり
  - ・異学年連携や異校種間連携、地域との連携等を図るネットワークの構築

### 自己決定の場の提供

- ◇自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等体験の場を充実する。
  - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
  - ・特別活動を中心とした児童生徒の決定が反映される生活づくり
  - ・自己決定したことを自ら振り返り、よさを称賛し合える場づくり

### 安全・安心な風土の醸成

- ◇児童生徒一人一人が、個性的な存在として尊重され、学級・ホームルームで安全かつ安心して教育を受けられるように配慮する。
  - ・お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるような風土づくり
  - ・教職員による児童生徒への言動等の配慮

#### ■ 関連事業等

「いじめゼロ子どもサミット（セミナー）」「心の交流事業」「13歳の自律教室」「非行防止教室」  
 「スクールカウンセラー配置事業」「スクールソーシャルワーカー配置促進事業」  
 「スクールサポートチーム派遣事業」「スクールロイヤー相談事業」「不登校支援ネットワーク事業」  
 「学校支援アドバイザー活用事業」「学生ボランティア派遣事業」「かがわマナーアップリーダーズ活動」  
 「いじめ相談電話24時間体制事業」「インターネット有害情報対策事業」「不登校対策スーパーバイザー活用事業」  
 「小中（中高）生徒指導担当教員連絡協議会」「『チーム学校』連絡協議会」「学校・警察相互連絡制度」  
 「香川県いじめ防止基本方針」「いじめ問題対策連絡協議会」  
 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」



#### ■ 関連資料

##### ○ 教育基本計画指標（県学習状況調査質問紙調査）

指 標	現 状	令和7年度の目標
「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に、「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答した児童生徒の割合	小学校5年生 71.2% 中学校2年生 66.4%	小学校5年生 72% 中学校2年生 67%

①「コロナいじめ」防止教材 ([https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/gimukyoi/seitoshido/coronavirus\\_bullying.html](https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/gimukyoi/seitoshido/coronavirus_bullying.html))

②生徒指導提要 文部科学省 ([https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt\\_jidou02-000024699-001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_jidou02-000024699-001.pdf)) QRコード上記参照